



肌色を決めた紫外線

例年、紫外線が強くなる夏が近づくと、紫外線の害を強調する傾向が顕著になり、紫外線を

カットするサンスクリーン(日焼け止め)のような化粧品を使わないと、真皮層のコラーゲンはずたずたになり、メラニン形成細胞は暴走して、シワやシミだらけの肌になると脅します。

そのため母乳育児の乳児が紫外線を浴びないとくる病に罹患する機序が解明されたのです。

紫外線から肌を守りビタミンDを生成する、そのためアフリ

カで誕生した

人類は移り住んだ環境に適応して、黒人、黄色人種、白人とも肌色を変えました。熱

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

夏こそ紫外線の恵みを

—ビタミンDの生成—

欧に移住した黒人の肌色は薄くなり、熱帯に移住した白人の肌色は濃くなつたと言られています。

成細胞のDNAに傷がついてシミになり、皮膚癌になる、と言う類の話を信じる人が増えましたが。ここでは詳細には触れませ

んが、わが国では女性が化粧をする習慣を身につけた第二

次大戦後に、

シミの患者は激増したのであります。その病因は化粧品の香料や石油化学成分が紫外線

と反応して変性したためです

が、化粧品メーカーは化粧品が関わることは伏せて一方的に紫外線に責任を転化するキヤン

押し上げ、紫外線を“お肌の大敵”にしたのは、化粧品メーカーが大々的にサンスクリーンを売り出しています。

紫外線は“お肌の大敵”?

紫外線がシワやシミの原因になると、と言う話を常識のレベルに外線に責任を転化するキヤン

パンDはカルシウム代謝を司る栄養素で、魚を除く食品では母乳を含めて必要量をまかなうこと

が難しいことが明らかにされ、

紫外線が強くなる夏が近づくと、紫外線の害を強調する傾向が顕著になり、紫外線を

カットするサンスクリーン(日焼け止め)のような化粧品を使わないと、真皮層のコラーゲンはずたずたになり、メラニン形成細胞は暴走して、シワやシミだらけの肌になると脅します。

しかし年間を通して不足しがち

なビタミンDを補うため、紫外

線が強い夏こそ紫外線を浴びな

ければなりません。紫外線がビ

タミンDを生成する作用は20世

紀の初頭に抗くる病効果で発見

されました。その後、ビタミ

ンDはカルシウム代謝を司る栄

養素で、魚を除く食品では母乳

を含めて必要量をまかなうこと

が難しいことが明らかにされ、

紫外線は密に関係しているため、北

い地域に住む白人は日焼けをし

ません。このように肌色と紫外

線は密に関係しているため、北

一病 息災

一病 息災

悪性腫瘍概論

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

悪性腫瘍「癌」は、身近な病気で、超高齢化社会に突入しつつある本邦においては、二人に一人が癌を患い、三人に一人は癌で亡くなっています。ですから、癌を死の病といったイメージで捉えている方が多いと思いますが、早期発見、早期治療により、治癒することができる病もあります。

今まで、多くの研究者が、癌の発症から診断、治療に至る部分が明らかにされました。が、さらなる癌の解明と制圧には、癌細胞が、自分自身の身体の細胞を起源とすることが故の難しさがあるのです。

癌の発症要因

癌の発症には、生活習慣やウイルスの関与が分かっていますが、肝炎ウイルスによる肝癌、ヒトパピローマウイルスによる子宮頸がん、ピロリ菌による胃癌等が、ウイルスによって引き起こされる癌として確認されています。

います。

ハーバード大学の報告(1996)から、癌の原因と考えられるものを列挙します。

喫煙 30%、成人期の食事・肥満 30%、座りぎりの生活様式 5%、職業要因 5%、癌家族歴 5%、ウイルス等の生物因子 5%、周産期要因・成長 5%、生殖要因 3%、飲酒 3%、社会経済的状況 3%、環境汚染 2%、他

癌の発生と消滅

修復できず、細胞がコントロールを失った状態に陥ります。とくに、癌遺伝子、癌抑制遺伝子に突然変異が起こると、癌化は促進されになりますが、正常な細胞がいったん癌細胞に変身すると、不老不死の細胞となります。

正常なヒトの細胞は、50~60回程度、細胞分裂を繰り返すと死に至る仕組みがでています。DNAの末端にある、生命の回数券と呼ばれる「テロメア」が、細胞分裂のたびにすり切れ短くなっていますが、癌細胞は、テロメアを再生することにより、巧みに死を避けています。

ヒトの身体は、約60兆個の細胞からなり、それぞれの臓器において、形や機能も異なります。が、細胞には寿命があるため、遺伝子(DNA)をコピーして2倍に増やしてから、新しい二つの細胞に分かれます。その際、遺伝子にコピーミス(突然変異)を生じることがあり、これが癌の発生原因となるのです。

この遺伝子に生じた突然変異は、小さなミスなら、DNA修復遺伝子によって、直ちに修復されますが、大きなミスの場合

癌とリンパ球

体内においては、免疫を司るリンパ球が癌細胞を攻撃する役目を担いますが、癌細胞は、元々が自分の正常な細胞であり、遺伝子の変異は軽微なため、いつのまにか、「自己」から「非自己」へと変わっていきます。そのため、発生初期には、リンパ球は、ウイルスや細菌のように、癌細胞をはつきり「非自己」と認識することができます。まごついている間に、癌細胞が増殖を続け、慌てて攻撃しても手遅れといった状態となってしまうのです。

癌と光線療法

リンパ球の働きには個人差がありますが、免疫細胞が弱つていると、癌細胞は増殖しやすく、常日頃から免疫力を高める努力が必要です。その点、サナモアには、リンパ球の働きを活性化し、自身の免疫力を高める作用がありますから、癌を予防する意味においても、サナモアの活用が勧められます。

第十九期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
サナモア光線治療師養成講座
は、予定通り、下記の日程で、
サナモア光線治療院会議室にて
開催致しました。
受講者紹介は次回10月号にて
掲載予定です。

場所：サナモア光線治療院
三階会議室
日時：午後二時三〇分
午後二時三〇分

現在、多くの方が、サナモア光線治療院に来られています。全身照射の体験目的の方、自宅での治療を補完する目的で月に一回程度来られる方、治療院での治療を主とし週に数回来られる方など様々ですが、その方々の貴重なご意見やご感想を、「受診者の声」として掲載致しました。

第四十一回
「光と熱研究会」
のお知らせ

サナモア光線治療院
受診者の声

サナモア便り

vol.58 宇都宮 正範

開講日程

6月26日(木)・27日(金)・28日(土)

講座内容

- (1) 医学総論・関係法規
- (2) サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (3) 光線治療器のメンテナンス法
- (4) ルーフ式・マルチアーク療法の実践
- (5) 開院のための準備

資格取得者の特典

- (1) 治療院を開業する際の指導
- (2) サナモアの名称使用
- (3) サナモア販売における代理店資格の取得
- (4) 季刊紙「健康と光線」への治験例報告

☆56歳、女性
母親がサナモア愛用者で、自宅にサナモアがあつたため、光線療法の良さは知っていたつもりですが、今回は、本当にその効果に驚き、感謝しています。

通い始めると同時に、自宅でも一時間以上、歯茎に直接光線を照射しました。そのお蔭で、歯茎の痛みは和らぎ、数日で腫れが出て腫れも引きました。歯を抜かずして済んで本当に良かったです。

以前から、時々、右前の歯茎が腫れ、痛むことがあります。が、腫れが強くなつたため、歯科を受診したところ、歯槽膿漏と診断され、前歯を2、3本抜く必要があるかも知れないと説明されました。驚いた私は、サナモアで治療することに決め、光線治療院に

知らない方も多いのですが、歯周病に対して、サナモアはどうでも有効です。治療する際には、口を大きく開けて口唇をめぐるようにして、歯茎に直接照射して下さい。

一言

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院
〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

サナモアで痛風を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

THE CROWN

症例 55歳 男性 会社員
二ヶ月程前、起床時に右足親指(第一趾)の付け根が激しく痛んだため、近医を受診し、血液検査を受けたところ、血清

高い状態では、再発する可能性があるので、薬物治療の継続が必要と説明されており、サナモアで治そうと決め、四日目から自宅での治療を開始。

尿酸値が11mg/dlと高値を呈しており、痛風発作と診断。薬物治療が開始され、痛みは若干軽減したが、腫れが、なかなかひかないため、サナモアで治療し

卷之三

療法経過　治療はBBカーボンにて、集光器を使用し、患部である右足親指第一趾の付け根を中心に、表裏、側面等、多方から、合わせて60分以上照射。その後、ABカーボンにて、足裏、膝、背部を各10分、ADカーボンにて、腹部10分照射した。翌日来院した際には、治療前に残っていた患部の痛みは、ほぼ消失し、腫れもかなりひいていた。医師からは、血清尿酸値が

症例 65歳 女性
症状 サナモア愛用者。夜間、ジヨギング中に転倒し、右前頭部を強打。帰宅後、打撲部位の痛みと腫れが強いため、サナモアの照射方法について、電話で相談された。

療法経過 使用するカーボンは B B カーボンの組み合わせとし、患部である前頭部をできる限り長時間照射するよう指示。数日後、患部は受傷直後より腫れて、赤黒い皮下出血が見られるが、このままサナモアを継続してよ

いかと質問を受けたため、この
ようなケースでは、一時的に腫
れが拡がり、皮下出血も二週間後
は目立った状態が続くが、必ず
よくなるから続けるよう指示し
た。なお、この時、一週間後に
旅行が控えており、できたら行
きたいと話していたが、その後
の連絡で、サナモアを続けてい
るうち、痛みと腫れがひいたた
め、何とか旅行に行くことがで
きたと喜ばれていた。また、一

の間、病院での頭部の検査で、頭蓋内に異常のないことは確認している。

その後は、BCカーボンで治療継続していたが、患部が少しこぶ状に腫れあがったため、BCカーボンに変更するよう指示。一年後再来所した際は、前頭部の打撲部位はきれいに治つておらず、あらためて、打撲に対するサナモアの効果を実感したと話された。

前頭部打撲をサナモアで治療
症例報告

福岡県春日市 育美健康光線療研
山崎 いく子(旧姓前)

山崎 いく子(旧姓前田)氏報生

九一八五八一
七一五二一〇三九

療法経過 使用するカーボン

BBカーボンの組み合わせと

患部である前頭部をである。

長時間照射するよう指示。

後、患部は受傷直後より腫れ

赤黒い皮下出血が見られる。このままサナモアを継続しない。

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯割

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントできるサンモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつりつせん取扱説明書」をご覧下さい。

肺の結節性病変が

サナモアで消失

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 044-731-5067

症例 62歳 女性
平成八年十一月、全身倦怠感、咳等の自覚症状が続いたため、病院にて精査を施行した

は欠かさなかつたが、平成十年を施行した。病院での経過観察

十一月の検査で、右肺中葉に見られた結節影は消失していた。その後、サナモアを継続しているが、関節の痛みも改善し、冬場でも風邪をひきにくくなつた現在、自宅にて、サナモアを継続しており、すこぶる健康な状態を維持できている。

治 験 例 報 告

腰椎圧迫骨折の痛みが

サナモアで劇的に改善

目黒区 サナモア光線治療院

東原 なつ子氏報告

TEL 03-5759-3710

来院時の問診にて、卵巣囊腫、関節リウマチも合併していることが分かったため、合わせて治療することとした。

治療法経過 治療は、BDカーボ

ンの組み合わせにて施行。患部

である右上背部(肺)には、4時

間の照射を実施。その後、腹部、

腰部、膝、肩に、各15分の照射

症例 84歳 女性
平成九年九月、右大腿部の痛みも強く、ほとんど動けない状態であつたが、受傷後約一ヶ月が経過した頃、やっとのことで治療目的にて当院を受診。当初は腰の痛みが強く、一歩進むのにも、かなりの時間を要する程の状態であつた。症例 62歳 女性
平成八年十一月、全身倦怠感、咳等の自覚症状が続いたため、病院にて精査を施行した

は、手術治療を拒否し、サナモアによる治療を希望され来院。治療法経過 治療は、左側臥位にて、腰部(BD)、右大腿背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)を30分照射後、右側臥位として、腰部(BD)、大腿(BD)、膝(AB)を30分照射。二、三日一度のペースで治療を開始したところ、10回の治療後には、

痛みがかなり緩和され、元気をとり戻し、15回の治療時点では、痛みもほぼ消失し、庭に出られるようになつた。その後も治療を継続し、25回の治療後には、以前のように、すいすいと歩けるようになつたと、目の前で喜んで歩いて見せ、最近は、骨丈夫にする目的で通院されてい

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、皆々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

温故知新

日光の避け過ぎが

病気をつくる

宇都宮 正範

先日、NHKの「あさイチ」で、この病という疾患を取り上げていましたが、ご覧になられた方もいらっしゃる」と思います。

そもそも、この病は、十七世紀の産業革命以降、英国で多発

したため、英國病とも称され、長らく治療法を解明できず、原因不明の奇病とされてきた疾患です。二十世紀に入り、ビタミンDの発見もあって、日光浴で治療できることが明らかとなり、今日では、過去の病気とされていましたが、何故、最近、乳幼児のくる病が増え、テレビで取り上げられるまでになってしまったのでしょうか。

それは、すばり、表題にもある日光の避け過ぎが原因なのです。数年前から、母子手帳に記載されていた日光浴が削除され、

化粧品会社は、美白化粧品を盛んに宣伝し、皮膚科の先生は、紫外線を浴びると皮膚癌になる

と脅し、この季節にNHKは必ず紫外線情報を流します。まるで紫外線が、PM2.5に匹敵するかのような悪者扱いです。

これでは、世のお母さん方が、紫外線を避けるようになるのに無理ありませんが、母乳には骨の成長にとって不可欠なビタミンDが十分含まれておらず、日光浴の避け過ぎから、ビタミンD欠乏を引き起こし、骨の発達障害をきたした結果、くる病やその予備軍の子供達が急増しているのです。

子供だけではありません。高齢者の骨粗鬆症や骨折も、骨の弱化が原因であり、日光浴を避ける風潮が関係しています。日光浴さえすれば、皮膚でビタ

ミンDが合成され、骨の成長を促すとともに、骨を強く丈夫にしてくれるのです。サナモアは、いつも好きな時間に、室内でできる日光浴です。どうも、毎日のサナモアを習慣化することによって、骨折を未然に予防し、生活の質を保つようにして下さい。

人類の過去の苦い経験から、もう一度学び、今の愚かな紫外線バッシングが、本当に正しいことなのか、皆さんで考えて頂ければと願う次第です。

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

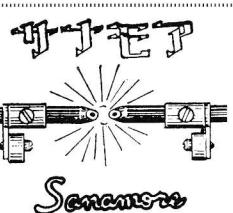
医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063
東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL(03)3793-1528
三七二二一五三二二

(本紙の無断転用を禁止します。)



サンモア光線協会

趣意書